



上▶全国制覇を果たしたバドミントン部のメンバー
下▶太田校長に表彰状を贈る根本教育長

ふたば未来学園高校バドミントン部が、7月に和歌山県で開催された全国高校総体（インターハイ）において男女ともに団体優勝を果たしました。インターハイ男女同時優勝は2017年（平成29年）以来9年ぶりで、同校としては3度目の快挙となります。また、個人戦でも女子ダブルスの上野優寿・伴野碧唯ペアが優勝を果た

しました。町ではその功績を称え、8月25日（火）に表彰式が行われ、根本教育長から表彰状などが贈られました。品田莉希副主将は、「男女アベック優勝をできたのは広野町の応援や支えのおかげです。この結果に満足することなく、次のステージに向けて頑張っていきたい。」と挨拶しました。

8.25

[火]

ふたば未来学園高校バドミントン部が男女ともにインターハイ優勝



上▶実行委員会の設立総会で挨拶する小松町長
下▶内堀知事に協力を求めた双葉郡内の首長たち

米・食味鑑定士協会が主催する新米の「おいしさ」を審査する国際大会『米・食味分析鑑定コンクール』の双葉郡内での開催が決定しました。コンクールは今年度から3年連続福島県内で行われ、8年度が須賀川市、9年度が会津若松市、双葉郡内での開催は10年度を予定しています。7月

31日（金）、コンクールの開催に向けた実行委員会の設立総会が行われ、実行委員長に選出された小松町長が「米どころ福島の魅力を国内外に発信したい。」と挨拶しました。8月5日（水）には、福島県庁を訪問し、内堀知事に大会成功に向けて県の協力を求めました。

7.31

[金]

「米・食味大会」実行委員会が設立 実行委員長に小松町長

米・食味分析鑑定コンクールとは？

『米・食味分析鑑定コンクール国際大会』は、国内外から出品されたお米を食味の専門家と最新の分析機器によって総合的に評価し、“おいしさ”の頂点を決める大会です。

お米が審査されるまで

① 農家さんが丹精込めて栽培！



土づくりや水の管理、肥料の調整など、日々の工夫を重ねて、おいしいお米を育てます。

② 自慢のお米をコンクールへ出品



決められた方法で玄米を提出。国内外から集まったお米が、いよいよ審査のスタートです。

③ 機器でお米の成分を分析



水分やたんぱく質、アミロースなど、食味に関係する成分を最新の機器で詳しく分析します。

④ 実際に炊いて食味をチェック！



専門の審査員が、香り・味・粘り・硬さ・外観などを実際に食べて総合的に評価します。

おいしさが認められたお米を表彰！

今年のコンクールは…

- 大会名 米・食味分析鑑定コンクール国際大会in須賀川岩瀬
- 開催地 須賀川市
- 開催時期 令和8年12月5日（土）・6日（日）

詳しくはHPをご覧ください▶



広野町の中学生を対象にした町営学習塾がひろの未来館において開催されました。町では中学生の夏休み期間を利用して、福島大学などの大学生らを講師に招き、基礎学力の向上や進路相談、受験対策などを目的に学習塾を毎年開催しています。学習塾では、大学生

8.18

[金]

広野町営学習塾を開催



の講師たちが親身になって生徒の学習をサポートしてくれるため、参加した中学生たちは分からないことも気軽に質問できるアットホームな雰囲気の中、自身の課題に真剣に向き合いながら学習に取り組んでいます。

上▶学習塾に参加した中学生（4日間のべ89名）
下▶大学生講師が親身になって学習をサポート